

空気弁に強制排気弁を追加したことにより管内充水時間を短縮

(高リスク施設の維持管理方法の事例)

【軽減する】

【内容】

- ・かんがい開始前に幹線送水路の充水を行うが、高低差が大きいため充水に時間を要していた。
- ・最も高いところにある空気弁に、管内の空気が集中することにより負担がかかり過ぎ、排気に時間を要していた。

【調査】

- ・空気弁メーカー（角田鉄工）に充水時の空気弁がどのような状態であるか、調査を依頼した結果、断続した空気だまりの排気に空気弁が、対応できていないということが判明した。

【対応】

- ・空気弁に強制排気弁を付けることにより、対応を行った。
- ・強制排気弁は、空気弁上部にハンドルを取付け、ねじ込むことにより強制的にフロート弁体を下げて、水混じりの空気を強制的に排気させることができる。

【結果】

- ・これにより 3時間かかっていた充水が30分程度で完了 するようになった。

■強制排気弁の図面

